

# 第168期 中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日

北海道瓦斯株式会社

証券コード：9534





# 天然ガスのさらなる普及拡大に向けて

代表取締役社長 大槻 博

## 「石狩LNG基地」の稼働後の状況はいかがですか。

「石狩LNG基地」の稼働により、北海道内一円に天然ガスの普及拡大を可能とする供給基盤が整いました。本年9月までに、当初の計画どおり、サハリン・オーストラリアから、延べ8隻のLNGタンカーを受け入れ、道央圏へのパイプライン供給のほか、函館地区への内航船輸送、北見・旭川など北海道内各地区へのローリー車による出荷など、北海道におけるエネルギー供給インフラとしての役割を果たしています。

## さらなる「天然ガスの普及拡大」の取り組みについて教えてください。

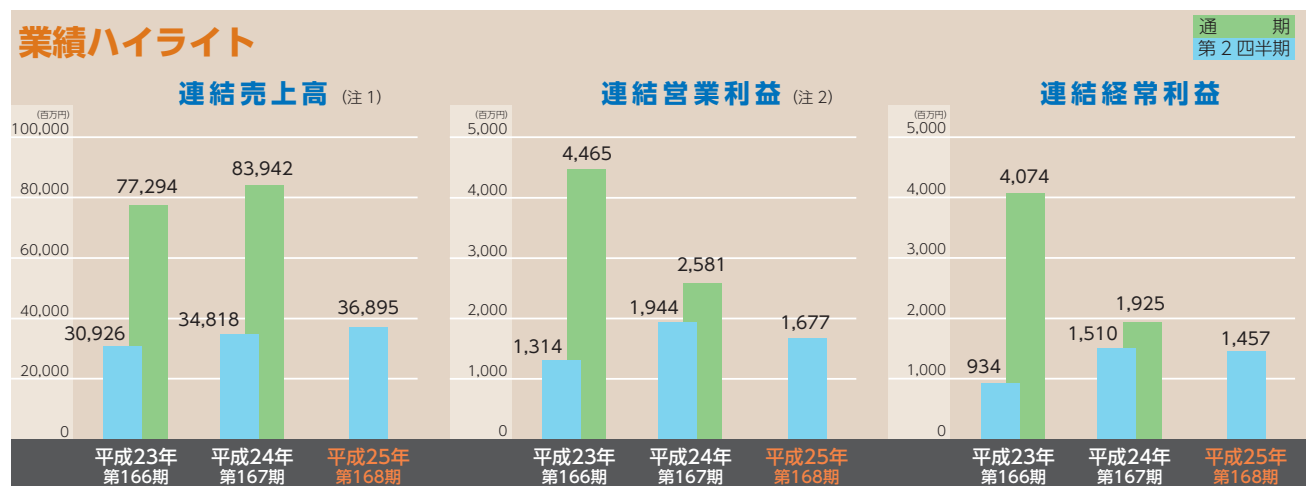
「中期経営計画～プログレス2020」に掲げた年間ガス販売量7億m<sup>3</sup>の早期実現に向け、諸施策に取り組んでいます。

天然ガスの普及拡大を支える事業基盤・体制の確立として、本年7月、フレアスト北見を開設することにより、全供給エリアでのフレアスト体制を整備するとともに、9月には、他エネルギーのご利用を含めたお客さま情報の一元管理と、リアルタイムな共有化が可能となるお客さま接点業務支援システム「LINKS」の運用を開始いたしました。これらにより、より高品質なワンストップサービスを全地区のお客さまにご提供していきます。

また、営業部門の体制を強化し、家庭用分野では「ガスマイホーム発電」の推進や他燃料からの燃料転換営業の強化、業務用分野では病院・老健施設をはじめ、中小口業務用の新規獲得と燃料転換営業を積極的に推進しています。また、産業用分野では、北海道内全域の大口のお客さまをターゲットに、LNGサテライト供給による提案営業を強化しています。

最後になりますが、将来にわたる天然ガス需要増加への対応を万全なものとするため、本年4月に2基目となるLNGタンクの建設に着手しました。また、ガス導管網の耐震性向上を図るため、計画的な入れ替え工事を着実に進めております。

今後も北海道における天然ガスの普及拡大を進めるとともに、天然ガスの安定供給と安全・安心の確保に努めてまいります。



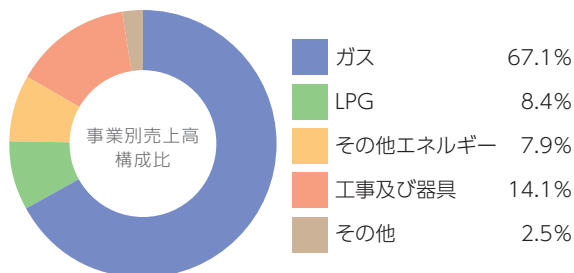
## ■ 家庭用のガス販売量が順調に伸びているようですが、今後の見込みはいかがですか。

省エネ型給湯暖房システム「エコジョーズ」は、2005年度の発売以降、2012年度までに累計12,000件を突破し、今年度上期までの累計で約16,000件（戸建14,000件）となり、今後の普及にも大きな手ごたえを感じています。また、分譲マンションは今年度も80%を超える高い採用シェアを維持し、戸建分野においても、家庭用燃料電池「エネファーム」や自社開発商品「コレモ」などの「ガスマイホーム発電」の販売が好調です。これまで、本年5月の「コレモ」新製品投入による効果もあり、順調に獲得件数を伸ばしております。今年度の目標である「ガスマイホーム発電」600件、「エコジョーズ」6,700件を達成し、家庭用年間ガス販売量を現在の1.4倍となる2億m<sup>3</sup>の早期実現に向け、積極的な営業活動を推進してまいります。



## ■ 株主の皆さまへメッセージをお願いします。

この度、株主さまの日頃からのご支援に感謝申しあげ、より多くの株主さまに当社株式を長期に保有していただき、加えて地域社会への貢献を図るべく「株主優待制度」を導入することといたしました。詳しい内容は、本報告書の「ご案内」をご参照いただければと思います。当社グループは、今後もお客さまの安全・安心を最優先に、北海道における天然ガスの安定供給基盤の確立と天然ガスの普及拡大を通じて、地域に根差すエネルギー事業者としての責任を果たすとともに、社会からの期待にこたえるべく努力してまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。



- (注1) 上記の事業別売上高には、事業間の売上高を含んでおりますが、連結売上高には、これを含んでおりません。
- (注2) 前第3四半期連結会計期間より、会計処理を一部変更しておりますため、平成23年通期以降の連結営業利益は、会計処理変更後の数値となっております。
- (注3) 平成25年9月のガス標準熱量変更により、過去のガス販売量を46.0465MJ/m<sup>3</sup>から45MJ/m<sup>3</sup>に換算しております。

### 当第2四半期連結ポイント解説

前第3四半期会計期間より石狩LNG基地が稼働し、天然ガスの普及拡大が順調に進んでおり、売上高は増収基調で推移しております。一方費用の面においては、引き続き経営全般にわたる合理化、効率化を進めたものの、見込んでおりました減価償却費等の基地運営経費や原料構成の変化により原材料費等が増加し、経常利益は前期に比べ減益となりました。これに加え、固定資産売却益等を特別利益に計上した結果、純利益は前期に比べ、増益となりました。

なお、当社グループの連結業績は、都市ガス事業の占める割合が高く、冬季から春にかけて多くの売上が計上されるという季節的変動要因があります。

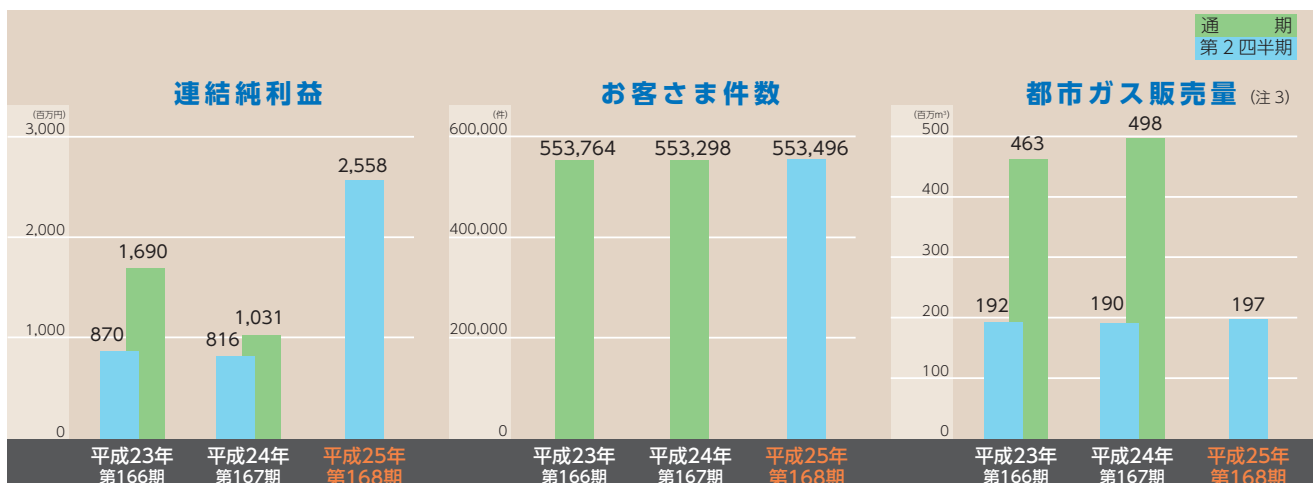
より詳細な財務データはこちら

北ガスIR

検索

### 中間配当について

中間配当金につきましては、本年10月30日開催の取締役会において、1株につき4円とすることを決定させていただきました。



NEWS 石狩LNG基地 2号タンク建設中

現在建設中のLNG2号タンクは、本年9月に、直径87.4m、厚さ約1.5mとなるタンクの底部分にコンクリートを一気に流し込み固める基礎版工事を行いました。延べ約1,900台のミキサー車で8,400m<sup>3</sup>の生コンを運搬し、総勢約450人の作業員が丸一日がかりで仕上げました。今後は、重さ1,900トンの屋根を空気の圧力で持ち上げる「エアレイジング」を来年10月に予定しており、平成28年9月の完成に向け、着実に工事を進めていきます。



「2号タンクの基礎版工事」

NEWS お客さま接点業務支援システム「LINKS」運用開始

「LINKS」では、これまで営業・修理・保安などの各業務分野や組織で分散管理されていたお客さま情報やサービス情報を、他エネルギーをご利用のお客さま情報と合せて、地図上での一元管理が可能となりました。この情報は、タブレット端末などにより、すべての組織・フレアストの担当者がいつでもどこでも共有できることから、作業時の訪問時間の短縮など、迅速・確実・丁寧なサービスを実現し、さらなる需要開発につなげていきます。



「タブレット端末を活用したお客さま訪問」

TOPICS 新型「コレモ」販売開始

本年5月に販売を開始した「ガスマイホーム発電」の新型「コレモ」は、総合エネルギー効率が従来の85%から90%に向上し、省エネ性と経済性がさらに高まりました。また、「コレモ」が発電中であれば停電時にも、給湯・暖房やテレビ・携帯電話充電器などのご利用も可能な機能も付加され、災害時にも強く、利便性も向上しました。今後も家庭用燃料電池「エネファーム」とともに、「ガスマイホーム発電」の積極的な販売を展開していきます。



「新型コレモ」



「リモコン」



TOPICS 株主さま施設見学会の開催

株主さまに当社事業についてご理解を深めていただくため、「石狩LNG基地・PRセンター」と本年4月に運用を開始した「札幌東ビル技術開発・研修センター」の見学会を本年9月に開催しました。札幌東ビルでは、環境配慮型空調システムやマイナス25℃まで設定可能な環境試験室での機器耐久実験の見学のほか、ガス機器等の修理研修、臨場感あふれる保安研修などの様子をご覧ください、当社における技術開発や人材育成の取り組みに対して理解を深めていただきました。



「ガバナー研修室の見学」

## 新しいお客さま

### オエノンホールディングス株式会社 苫小牧工場 さま

合同酒精株式会社さま、北の誉酒造株式会社さまなどをグループに持つオエノンホールディングス株式会社さまは、長年培った発酵技術により、米を主原料とするバイオ燃料製造の実用化に向け技術実証に取り組んでいます。本年3月、CO<sub>2</sub>排出量とエネルギーコストの削減をめざして、苫小牧工場の主燃料を、重油からLNGに転換していただきました。LNGをローリー車で輸送し、使用場所でガス化するLNGサテライト供給は、北海道の自然を守りながら、再生可能エネルギー製造のお手伝いをさせていただいております。



### 社会福祉法人 財団法人 済生会支部 北海道済生会小樽病院 さま

全国各地で約400の医療施設や福祉施設などを運営する社会福祉法人 済生会さまは、「医療を受けられない国民の生命を救いたい」という明治天皇の思いから、明治44年に設立され、高度な医療技術と生活困窮者向けの無料低額診療サービスなどをあわせ持つ、日本最大の社会福祉法人です。大正13年、小樽市に開院されましたが、建て替えに際し、環境性と経済性を評価いただき、空調などの燃料に天然ガスをご採用いただきました。本年8月から新しい施設の運用を開始し、地域医療の中核として、高度で質の高い医療を提供しています。



### みよしの さま

札幌市を中心に北海道内に26店舗を展開し、昭和42年の創業以来、餃子専門店として長年にわたり親しまれているみよしのさまは、本年8月、札幌八軒店のオープンにあたり、厨房に天然ガスをご採用いただきました。相性抜群の餃子とカレーの「みよしのセット」は、ファミリーのお客さまにも幅広くご好評いただいている一番人気のメニューです。スーパーなどで販売している「みよしのチルド餃子」なども製造する札幌工場でも、本年12月から、製造・調理の燃料を、従来の灯油やLPGから天然ガスに転換いただく予定です。



### ガスでおいしい、パワークッキング 「石狩汁」

エネルギー(1人あたり)  
172kcal

#### 材料(6人分)

生秋鮭(アラを含む)	500g	酒・塩	少々
大根	200g	水	カップ6杯
人参	中 1/3 本	昆布	15cm
じゃがいも	2個	酒	大さじ 2杯
ごぼう	中 1/2 本	みそ(赤・白)	大さじ 4~5杯
キャベツ	2~3枚	生姜汁	適量
豆腐	1/3 丁		
長ねぎ	1本		

貝だくさんの汁ものは満腹感を得ることが出来ます。野菜もたっぷり入れて、ビタミン、ミネラルを補いましょう。



#### 作り方

- ① 昆布は1時間位水につけておきます。
- ② 鮭はひと口大に切り、酒・塩を少々かけ、しばらく置き、霜ふりにします。
- ③ 大根、人参はいちょう切りにします。じゃがいもは乱切りにします。ごぼうはささがきにします。
- ④ キャベツは大きめに切ります。
- ⑤ 豆腐は1.5cm角に切ります。
- ⑥ 長ねぎは斜めに切ります。
- ⑦ ①に③の野菜を入れ、火にかけます。沸騰寸前に昆布を取り出し、②の魚、酒も加えます。
- ⑧ 野菜がほぼ柔らかくなったらキャベツを加えます。
- ⑨ みそを溶いて入れて味を調え、豆腐、長ねぎを入れて火を止めます。
- ⑩ お好みで生姜汁を⑨の鍋に加えます。

<レシピ監修>北ガスクッキングスクール

## ご案内

### 株主優待制度の導入を決定いたしました。

当社は、株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高めることで、当社株式をより多くの方に取得していただき、長期にわたり保有していただくことを目的に、株主優待制度を導入することといたしました。

地域に根差す企業グループとして、北海道特産の農産品等を優待品とすることで北海道の基幹産業である農業を支援することにより、地域社会への貢献を図ってまいりたいと考えております。

#### ■ 対象となる株主さま

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された1単元(1,000株)以上を保有されている株主さま

#### ■ 優待の内容

保有株数	株主優待品
1,000株以上5,000株未満	お米券(2kg相当)
5,000株以上	商品カタログ (北海道特産の農産品)

#### ■ 送付時期

毎年1回、6月初旬の事業報告送付時に、お米券または商品カタログを同封いたします。

#### ■ 実施開始時期

平成26年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された1単元(1,000株)以上を保有されている株主さまより開始いたします。

### 株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準日	期末：毎年3月31日 中間：毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) ☎ 0120-782-031 (受付時間：平日9:00～17:00/フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により当社ホームページ ( <a href="http://www.hokkaido-gas.co.jp/">http://www.hokkaido-gas.co.jp/</a> )に掲載します。
上場取引所	東京証券取引所・札幌証券取引所

### 「配当金計算書」について

同封の「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告をされる際は、その添付資料としてご使用になることができますので大切に保管してください。

### 表紙イラスト：佐々木 小世里(ささき こより)

平成4年より新聞、雑誌、広告などで活躍するイラストレーター。主な仕事にJRタワーホテル日航札幌のゲスト用ポストカードなど。北海道新聞生活面で「キラリ！見つけた」(毎週火曜日)連載中。札幌芸術の森美術館企画展「真冬の花畑」参加(平成22年)。著書に「ほっぺおちの旅」(柳亜古と共著)がある。札幌市在住。

## 会社の概況・株式情報

### 本社所在地

札幌市中央区大通西七丁目3番地1

### 主な事業内容

- ガスの製造・供給および販売
- ガス機器の販売および貸付け等

### 取締役および監査役

代表取締役社長	大槻 博	社外取締役	野田 雅生
代表取締役	岡崎 哲哉	社外取締役	中上 英俊
取締役	丸子 彰	監査役(常勤)	合月 宏
取締役	杉岡 正三	社外監査役(常勤)	緒形 秀樹
取締役	細田 英生	社外監査役	田中 賢龍
取締役	堤 信之	社外監査役	小山 俊幸

### 執行役員

社長執行役員	大槻 博	執行役員	近藤 清隆
副社長執行役員	岡崎 哲哉	執行役員	土谷 浩昭
常務執行役員	丸子 彰	執行役員	菅原 利浩
常務執行役員	杉岡 正三	執行役員	梅村 卓司
常務執行役員	細田 英生	執行役員	末長 守人
常務執行役員	堤 信之		
常務執行役員	佐藤 和夫		

### 株式の状況

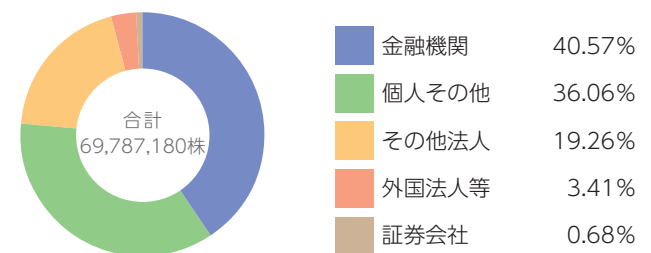
- 資本金 5,039,330,802 円
- 発行可能株式総数 160,000,000 株
- 発行済株式の総数 69,787,180 株(自己株式を含む)
- 総株主数 6,361 名

### ●大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	5,310	7.66
東京瓦斯株式会社	4,274	6.17
株式会社北海道銀行	3,429	4.95
株式会社北洋銀行	3,427	4.94
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者資産管理 サービス信託銀行株式会社	2,629	3.79
北海道信用農業協同組合連合会	2,475	3.57
札幌市	2,244	3.24
第一生命保険株式会社	1,500	2.16
明治安田生命保険相互会社	1,450	2.09
北海道瓦斯従業員持株会	1,405	2.02

(注)1. 株主名および持株数は、株主名簿に基づき記載しております。  
2. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(515,979株)を控除して計算しております。

### ●所有者別株式数構成比



※本報告書に記載の数値に表示単位未満の端数がある場合、原則としてこれを切り捨てております。



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。